

1 次の2次方程式の実数解の個数を求めよ。

- (1) $x^2+5x+1=0$ (2) $4x^2-4x+1=0$ (3) $3x^2-5x+3=0$
(4) $9x^2+12x+4=0$ (5) $3x^2+x-1=0$ (6) $-x^2+5x-7=0$
(7) $x^2+7x+8=0$ (8) $x^2-4x+5=0$ (9) $5x^2-3x-1=0$

2 次の2次関数のグラフと x 軸の共有点の個数を求めよ。

- (1) $y=x^2-3x+1$ (2) $y=x^2+6x+9$ (3) $y=3x^2+4x+2$
(4) $y=-2x^2+x+1$ (5) $y=-x^2+4x-9$ (6) $y=-4x^2-12x-9$
(7) $y=x^2-3x+1$ (8) $y=2x^2+x+2$ (9) $y=-x^2+4x-2$

3 次の条件を満たすように、それぞれ定数 m , a の値の範囲を定めよ。

- (1) 2次方程式 $x^2+3x+m=0$ が異なる2つの実数解をもつ。
(2) 2次方程式 $x^2-4x-m=0$ が実数解をもたない。
(3) 2次方程式 $3x^2+6x+2m-1=0$ が実数解をもつ。
(4) 2次方程式 $x^2+5x+m=0$ が異なる2つの実数解をもつ。
(5) 2次方程式 $2x^2-3x+m-1=0$ が実数解をもたない。
(6) 2次方程式 $x^2+2mx+3=0$ が実数解をもつ。
(7) 2次方程式 $x^2+mx+m=0$ が実数解をもつ。
(8) 2次方程式 $x^2-2mx-4m=0$ が実数解をもたない。
(9) 2次方程式 $x^2+(a+1)x+3(a+1)=0$ が実数解をもたない。

4 次の条件を満たすように、定数 m 、 a 、 k の値の範囲を、それぞれ定めよ。

- (1) 2次関数 $y = x^2 + 5x + m$ のグラフが x 軸と異なる 2 点で交わる。
- (2) 2次関数 $y = x^2 - 4x + m$ のグラフが x 軸と共有点をもたない。
- (3) 2次関数 $y = 2x^2 + 3x - 2m + 1$ のグラフが x 軸と共有点をもつ。
- (4) $y = 2x^2 + 4x + a$ のグラフが x 軸と共有点をもつ。
- (5) $y = -x^2 - 3x + 2a$ のグラフが x 軸と共有点をもたない。
- (6) $y = x^2 - 2kx + 3k$ が x 軸と共有点をもつ。
- (7) 2次関数 $y = x^2 - 2mx + 2m + 3$ のグラフが x 軸と共有点をもつ。
- (8) 2次関数 $y = x^2 + 2mx - m + 2$ のグラフが x 軸と共有点をもたない。
- (9) 2次関数 $y = x^2 + mx - m$ のグラフが x 軸と共有点をもたない。
- (10) 2次関数 $y = x^2 + mx + 1$ のグラフが x 軸と異なる 2 点を共有する。

5 次の 2 次方程式が重解をもつように、定数 m の値を定めよ。また、そのときの重解を求めよ。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| (1) $3x^2 - 8x + m = 0$ | (2) $4x^2 + (m - 1)x + 1 = 0$ |
| (3) $mx^2 - 4mx + 2m + 4 = 0$ | (4) $x^2 - 3x + k = 0$ |
| (5) $2x^2 + (k + 1)x + 2 = 0$ | (6) $x^2 + 2x + m - 3 = 0$ |
| (7) $x^2 + 4mx + 25 = 0$ | (8) $4x^2 + (m + 2)x + m - 1 = 0$ |

6 次の2次関数のグラフが x 軸に接するように、定数 m , a の値を定めよ。また、そのときの接点の座標を求めよ。

(1) $y = x^2 + 2mx + m + 2$

(2) $y = x^2 - \sqrt{5}x + m^2 + 2m$

(3) $y = x^2 + mx + m + 3$

(4) $y = x^2 + 4x + a$

(5) $y = x^2 + mx + 1$

(6) $y = x^2 - 2mx + m$

7 次の2次不等式の解がすべての実数であるとき、定数 m , a の値の範囲を求めよ。

(1) $x^2 - mx + 1 > 0$

(2) $-x^2 + mx + 2m < 0$

(3) $ax^2 + (a-1)x + a - 1 > 0$

(4) $x^2 - (m-1)x + 3 > 0$

(5) $x^2 - 2mx + m + 6 > 0$

8 次の条件を満たすように、定数 m の値の範囲を定めよ。

(1) 放物線 $y = x^2 + mx + 1$ において、 y の値が常に正である。

(2) 放物線 $y = x^2 - 2mx + 3m - 2$ が $y < 0$ の部分を通らない。

(3) 放物線 $y = mx^2 + 4x + m - 3$ において、 y の値が常に負である。

(4) 2次関数 $y = x^2 + mx + 2$ において、 y の値が常に正である。

(5) 2次関数 $y = mx^2 + 4x + m - 3$ において、 y の値が常に負である。

9 (1) 放物線 $y = x^2 - 3x + m$ が直線 $y = x$ と接するとき、定数 m の値の範囲を求めよ。

(2) 放物線 $y = x^2 - 3x + m$ が直線 $y = 4x + 3$ と異なる2点で交わる時、定数 m の値の範囲を求めよ。

(3) 放物線 $y = x^2 - 4x + 3$ と直線 $y = 2x + k$ が接するとき、定数 k の値を求めよ。また、そのときの接点の座標を求めよ。